

平成26年度（2014年度）事業報告書

公益財団法人横須賀市産業振興財団は、平成5年11月から「横須賀市産業交流プラザ」を活動の拠点に各種事業を行い、本市の産業振興を図っております。

平成26年度は公益財団法人に移行した最初の年度であり、成長傾向にある日本経済の中で、いち早く創業・経営革新の手立てを個々の事業者に伝えるため、国の支援策も活用しながら県・市・商工会議所など関係機関・団体と連携し、財団ならではの機動性を発揮して諸事業を展開いたしました。

具体的には、様々な創業者・事業者が異業種の人々と新たに出会える交流事業、時宜に適したセミナーやフォーラム等を行う研修事業、ホームページ等を活用した情報提供事業、個別の課題にきめ細かく対応する調査相談事業、中小企業等の勤労者を対象に行う福利厚生事業と慶弔給付事業、さらには依頼に応じて経営課題に深く踏み込む経営改善支援事業によって、創業者や既存企業が新たな事業活動に取り組む際のノウハウの取得を支援しました。

今後もより一層、個別企業の経営革新や創業者成長支援等の各種事業を通じて、横須賀市の産業振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業福利厚生の充実のための事業を展開してまいります。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する懇談会、シンポジウム等の開催（交流事業） 支出額 1,416,787円

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す3つの異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会
- ・横須賀三浦地区工業経営研究会
- ・横須賀交流プラザ

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るため、産学官連携のイベント等の終了後に開催した。

- ・期 日 5/23・6/27・7/25・9/24・11/27・11/28の6回
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 大学研究者・企業関係者延べ319人

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の5産業振興財団が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 (公財)横須賀市産業振興財団、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団、(公財)相模原市産業振興財団、(公財)湘南産業振興財団

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

ITベンチャーや女性起業家を目指すグループの自主的な活動に対して、運営面でのアドバイスとともに広報や会場使用料、開発経費等の面で支援した。

- ・対象 ①女性起業家応援団“WITH”
- ②日本 Android の会横須賀支部
- ③横須賀ガジェットラボ研究チーム
- ④ヨコスカバレー構想実現委員会

① 女性起業家によるセミナー・勉強会の開催（WITH主催・財団後援）

ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師など、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行う対外的なセミナー・交流会とメンバー間の勉強会を次のとおり開催した。

セミナー・交流会 4/12・6/21・8/22・10/25・11/27・2/28 計6回 参加者：延べ134人
勉強会 5/10・7/18・9/20・12/26・1/17・3/28 計6回 参加者：延べ52人

② 日本 Android の会横須賀支部定例会の開催（支部長高見知英主催・財団後援）

今後の企業経営に大きな影響を及ぼしつつあるスマートフォン向けOSのAndroidについての勉強会を次のとおり隔月に開催した。

4/26・6/22・8/2・10/19・12/27・2/7 計6回 参加者：延べ60人

③ 横須賀ガジェットラボ研究チームによる開発試作の支援（木皿直規コーディネーター主催）

YRP内で活動している当チームが開発試作に必要な部品・ソフトを購入した。

チーム構成員：木皿コーディネーター、研究者、開発者、企業経営者 計12名

開発試作の会合：平成26年11月19日～平成27年3月11日まで計18回 参加者延べ58人

④ ヨコスカバレー構想実現委員会の活動支援（委員会主催・財団後援）

横須賀におけるITベンチャー企業の集積を図るための委員会開催にかかる会場使用料を負担した。

委員会 10/27・12/5・2/16 計3回 参加者：延べ43人

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催（研修事業） 支出額 1,687,024円

(ア) 産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるよう開催し、延べ71人参加した。

- ・期 日 5/23・7/25・9/24(全3回)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・対象者 企業経営者、技術者及び市民
- ・内 容

第1回 「機能性材料としてのゼオライト・多孔性物質」

防衛大学校 准教授 西 宏二（参加者22人）

第2回 「救命救急とヘリコプタ～人命救助におけるヘリコプタの役割とは～」

防衛大学校 教授 井星正氣（参加者25人）

第3回 「如何にしてCTスキャンは医療に応用されたのか」

防衛大学校 准教授 滝口孝志（参加者 24人）

b 産学連携フォーラムの開催

① 環境・エネルギー産学連携フォーラム in 横須賀 2014

「水素エネルギーと燃料電池に関する現状と課題」

- ・期 日 平成26年11月28日（金）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・内 容
 - (a) 「環境とエネルギーの諸問題～水素の製造、小規模発電、放射性セシウムの除去～」
防衛大学校 教授 横森慶信
 - (b) 「水素エネルギー社会における水素の貯蔵技術」
防衛大学校 講師 山田浩之
 - (c) 「燃料電池の開発状況と課題」
電力中央研究所 上席研究員 森田 寛
 - (d) 交流会
- ・参加者 77人

② よこすか産学連携推進フォーラム inYRP

「横須賀のITをめぐる歴史と今後の展望～情報通信産業の歴史と未来・横須賀からの発信～」

- ・期 日 平成27年3月27日（金）
- ・場 所 YRPセンター1番館第1会議室および無線歴史展示室
- ・内 容
 - (a) 「無線歴史展示室設置の経緯と横須賀の無線通信の歴史」
早稲田大学大学院 客員教授 太田現一郎
 - (b) 無線歴史展示室見学
 - (c) 「マイコンの歴史」
ファブラボ関内ディレクター 大和田健一
 - (d) 「Arduino ロボットの紹介とデモ」
横浜システム工学院専門学校 講師 鈴木美朗志
 - (e) 「スタートアップで横須賀を元気に！起業するなら横須賀！」
タイムカプセル(株) 代表取締役 相澤謙一郎
- ・参加者 33人

c Androidプログラミング勉強会～アルディーノ連携編～の開催（ガジェットラボ勉強会）

- ・期 日 9/10・9/17(全2回)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第2会議室及び第2研修室
- ・講 師 ファブラボ関内ディレクター 大和田健一
- ・内 容
Arduinoプログラムの製作、AndroidとArduinoを連携したアプリケーションの製作
- ・参加者 7人

(イ) 新春経済講演会の開催

激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、新聞やテレビでも馴染み深い講師より、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針として講演した。

- ・期 日 平成 27 年 1 月 27 日 (火)
- ・場 所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
- ・主 催 横須賀商工会議所、横須賀市、(公財)横須賀市産業振興財団、(公社)横須賀青年会議所、横須賀工業振興協、横須賀三浦労働基準協会、横須賀運輸港湾振興会、三浦商工会議所
- ・後 援 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・講 師 岸 博幸 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授)
- ・内 容 「どうなる日本～政治・経済の問題点を斬る!～」
- ・参加者 308 人

(ウ) 中小企業問題解決講座の開催

経営課題の解決と経営計画策定に参考となる情報を提供し、創業者と市内中小企業の経営の健全化と活性化を図るため開催した。

a 創業補助金セミナー

- ・期 日 平成 26 年 5 月 15 日 (木)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第 2 研修室
- ・共 催 横須賀商工会議所、かながわ信用金庫、湘南信用金庫、神奈川県信用保証協会
- ・後 援 横須賀市、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・テ ー マ 「創業補助金とは～創業補助金を得るには何をすればよいのか～」
- ・講 師 公認会計士・税理士 高梨喜裕
- ・参加者 49 人

b 創業者成長支援セミナー (特定創業支援事業)

- ・期 日 2/26・3/5・3/12・3/19・3/26<全 5 回>
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ第 2 研修室
- ・共 催 横須賀市、かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・テ ー マ ①「絶対に知っておきたい創業・経営の心得 10 カ条」(2/26)
②「数字に親しくなる経理処理の仕方、財務諸表の正しい見方」(3/5)
③「企業は人なり～人材が強くなやかな組織を作る」(3/12)
④「売れるにはツボとコツがある。その仕組みを徹底的に考える」(3/19)
⑤「成長戦略について・全 5 回の振り返り」(3/26)
- ・講 師 中小企業診断士 菅生将人 (①、⑤)、中小企業診断士 大庭聖司 (②)
中小企業診断士 酒井勇貴 (③)、 中小企業診断士 原 賢治 (④)
- ・参加者 25 人 (全 5 回出席者 14 人)

ウ 産業経済情報の収集及び提供 (情報提供事業) 支出額 497,721 円

(ア) 情報の収集及び提供

産業交流プラザの情報図書室において、来館者に経済情報等を提供した。

(イ) ホームページの運用による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究（調査・相談事業） 支出額 4,566,473 円

(ア) 産学官連携推進事業

市内中小企業が研究開発を伴う事業に取り組む際に、大学や研究機関との橋渡しを行う他、企業間連携促進のために産学官コーディネーターを2人配置して個別案件を支援した。

- ・氏名 上原康滋、木皿直規
- ・稼働日数 延べ152日
- ・支援実績 個別支援対象21事業所・団体に対して22大学・研究機関の研究者や連携企業を継続的に仲介した他、研究開発力向上のためのアドバイスを行った。

(イ) 創業者相談

創業後間もない事業者と創業支援オフィス入居者に対してアドバイスを行った。

- ・事業者数 10社（うち3社は創業支援オフィス入居者）
- ・相談員 (公財)横須賀市産業振興財団事務局長・中小企業診断士 堀込孝繁

(ウ) 技術相談

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関や市の工業担当職員と連携して個別訪問を行い、技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

- ・期間 平成26年4月から平成27年3月（原則として毎月1回）
- ・企業数 14社
- ・訪問者 神奈川県産業技術センター職員、横須賀市経済部工業担当職員、財団職員

(エ) 働く人の相談窓口

悩みやストレスを抱えている人や、その管理者・経営者を対象に相談窓口を開設した。

- ・期間 平成26年4月から平成27年3月（原則として毎週水曜日）
- ・相談者数 相談者44人 延べ167回（電話相談含む）
- ・相談員 (公財)横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎
- ・内容 ハラスメントを含む職場の人間関係 19人、就職・転職 12人、職場不適応 7人、退職定年 4人、部下の扱い方 2人

オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供（福利厚生事業） 支出額 16,456,961 円

(ア) 会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	1,035	93	156	972
	逗子市	20	0	0	20
	三浦市	56	4	36	24
	葉山町	7	0	0	7
	計	1,118	97	192	1,023
事業所数	横須賀市	158	7	8	157
	逗子市	7	0	0	7
	三浦市	37	2	35	4
	葉山町	2	0	0	2
	計	204	9	43	170

(イ) 自己啓発・余暇活動事業

会員が行う自己啓発研修や広範囲の余暇活動をサポートする事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している㈱ベネフィット・ワンと契約し、きめ細かなサービスを提供した。

a 潮干狩り大会

- ・期 日 平成 26 年 4 月 19 日 (土)
- ・場 所 走水海岸
- ・参加者 29 名

b 「開国花火大会」観覧クルーズ

- ・期 日 平成 26 年 8 月 2 日 (土)
- ・場 所 久里浜沖
- ・参加者 35 名

c 東京ディズニーシー パークファンパーティー

- ・期 日 平成 26 年 10 月 5 日 (日)
- ・場 所 東京ディズニーシー (ケープコッド・クックオフ)
- ・参加者 28 名

d リボンリース教室

- ・期 日 平成 26 年 11 月 15 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 22 名

e ファイナンシャルプランナーによる「大增税に備えるミラクルマネー講座」

- ・期 日 平成 27 年 2 月 14 日 (土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 16 名

f ボウリング大会

- ・期 日 平成 27 年 2 月 20 日 (金)
- ・場 所 スポーツ横須賀 (ダイエー横須賀店)
- ・参加者 47 名

g 三浦半島でいちご狩り

- ・期 間 平成 27 年 1 月 6 日～平成 27 年 2 月 28 日
- ・場 所 津久井浜観光農園
- ・参加者 100 名

h 各種利用券補助

- | | | | |
|----------------------|---------|-------------|-------|
| ・ジェフグルメカード | 1,930 枚 | ・全国共通ゆうえんち券 | 40 枚 |
| ・おんりーゆー他日帰り温泉チケット | 251 枚 | ・ユネッサン入場券 | 81 枚 |
| ・ディズニーリゾート特別利用券 | 207 枚 | ・日帰りバスツアー | 75 名 |
| ・すこやかん他スポーツ施設チケット | 216 セット | ・ホテルランチ券 | 539 枚 |
| ・潮干狩り・海の家(走水) | 157 枚 | ・トイカード | 120 枚 |
| ・天成園他宿泊チケット | 23 枚 | ・新江の島水族館ほか | 76 枚 |
| ・ハーゲンダッツ、ミスタードーナツ商品券 | 206 枚 | | |

i 文化教養（演劇、歌謡などの鑑賞券補助）

- ・場 所 横須賀芸術劇場ほか
- ・内 容 ヨコスカジャズドリームス 2014 ほか
- ・利用枚数 83 枚

j 委託事業（ベネフィット・ワン）

- ・宿泊施設 122 件
 - ・レジャー&エンターテインメント 283 件
 - ・リラクゼーション&ビューティー 218 件ほか
- 合 計 872 件

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの割引利用や、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助（再掲）

- ・横須賀市健康増進センター「すこやかん」 143 セット（1 セット 10 枚）
- ・横須賀市サブアリーナほか 3 件「温水プール」 44 セット（1 セット 11 枚）
- ・横須賀市総合体育会館ほか 3 件「施設使用」 29 セット（1 セット 11 枚）

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・補助対象 会員と登録している家族、計 3 名まで
- ・利用者 475 名

c 家庭用常備薬あっせん

- ・利用者 77 名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容について PR し、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4 月・7 月・10 月・1 月（計 4 回）
- ・発行部数 6,000 部
- ・内 容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月（計 3 回）
- ・発行部数 900 部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

5,557,780 円

(ア) 会員の概要

P5「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供（福利厚生事業）（ア）会員の概要」のとおり

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に見舞金や祝い金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝金
給付額(結婚 10,000 円、他 5,000 円) 170 件
- ・休業、住宅火災、後遺障害の見舞金
給付額(5,000 円～50,000 円) 11 件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000 円～100,000 円) 39 件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業） 1,197,854 円

(ア) オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣した。

- ・受託件数 3 件（延べ 14 回）
- ・内 容 「飲食店のメニュー改善と多店舗展開の実施方策検討支援」1 件（3 回）
「衣料品販売店の事業承継と営業戦略策定支援」1 件（6 回）
「リフォーム業の顧客開拓方策立案支援」1 件（5 回）
- ・派遣専門家 中小企業診断士

(イ) 企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。

- ・期 間 平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで年間を通じて実施
- ・企業数 14 事業者(14 回)
- ・訪問者 中小企業診断士、司法書士等

2 役員会等の概要

(1) 役員に関する事項

ア 監事の就任

- ・平成 26 年 7 月 7 日付 伊 藤 智 則 氏（就 任）

イ 監事の辞任

- ・平成 26 年 7 月 7 日付 大 西 浩 信 氏（一身上の都合による）

ウ 評議員の就任

- ・平成 26 年 7 月 7 日付 鴻 田 楽 氏（就 任）
菅 隆 氏（ ” ）

エ 評議員の辞任

- ・平成 26 年 7 月 7 日付 村 上 顕 郎 氏（一身上の都合による）
吉 村 東 彦 氏（ ” ）

(2) 役員会等に関する事項

ア 平成 25 年度事業及び決算等の監査 平成 26 年 6 月 11 日(水)

イ 理事会

- ・平成 26 年度第 1 回理事会 平成 26 年 6 月 16 日(月)
 - 第 1 号議案 「代表理事(副理事長)・業務執行理事(常務理事)の選任について」
 - 第 2 号議案 「事務局長の選任について」
 - 第 3 号議案 「三浦半島中小企業勤労者福祉サービスセンター事業検討会議の設置について」
 - 第 4 号議案 「平成 25 年度(2013 年度)事業及び収支決算について」
 - 第 5 号議案 「定時評議員会の招集について」

- ・平成 26 年度第 2 回理事会 平成 27 年 3 月 4 日(水)
 - 第 1 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)事業計画について」
 - 第 2 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)収支予算について」
 - 第 3 号議案 「公益変更認定申請について」
 - 第 4 号議案 「評議員会の招集について」

ウ 評議員会

- ・平成 26 年度第 1 回評議員会 平成 26 年 6 月 23 日(月)
 - 第 1 号議案 「評議員会会長の選任について」
 - 第 2 号議案 「監事の辞任及び選任について」
 - 第 3 号議案 「評議員の辞任及び選任について」
 - 第 4 号議案 「平成 25 年度(2013 年度)事業及び収支予算について」

- ・平成 26 年度第 2 回評議員会 平成 27 年 3 月 20 日(金)
 - 第 1 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)事業計画について」
 - 第 2 号議案 「平成 27 年度(2015 年度)収支予算について」